

## 水道事業会計決算

区分	金額
収益的収入(水道料金などの収益)	8億 215万円
収益的支出(減価償却費など)	6億7,458万円
資本的収入(国などからの借入金、国庫補助金)	5億8,833万円
資本的支出(工事費、借入金の返済)	9億3,076万円

※資本的収支の不足額は「当年度分損益勘定留保資金」などで補てん

## 下水道事業会計決算

区分	金額
収益的収入(下水道使用料などの収益)	6億6,299万円
収益的支出(減価償却費など)	6億6,634万円
資本的収入(国などからの借入金、受益者負担金)	2億9,456万円
資本的支出(工事費、借入金の返済)	4億8,300万円

※資本的収支の不足額は「当年度分損益勘定留保資金」などで補てん

## 健全財政 5 年計画の達成状況 & 健全化判断比率の状況

■**経常収支比率**…100%に近づくほど市が自由に使える財源が乏しくなるとされる数値

計画値	実績値	達成状況
88.0% (88.1%)	90.3% (87.2%)	概ね達成

■**市税等収納率(現年分)**…実際に納付された税金の割合

計画値	実績値	達成状況
97.54% (97.54%)	98.00% (98.04%)	達成

■**貯蓄の状況**…財政調整基金、市債管理基金、公共施設等整備基金の合計額

計画額	決算額	達成状況
17億 371万円 (18億 321万円)	26億5,952万円 (25億3,610万円)	達成

■**借金の状況**

区分	計画額	決算額	達成状況
借入額	15億 20万円 (28億7,240万円)	11億2,080万円 (24億1,730万円)	達成
市債残高	191億1,779万円 (198億 182万円)	180億6,123万円 (191億1,808万円)	達成

市の貯蓄に当たる「主要三基金(財政調整基金・市債管理基金・公共施設等整備基金)の合計額は、26億5,952万円(前年度比1億2,342万円増)。市の借金、「市債」の残高は、180億6,123万円(前年度比10億5,685万円減)でした。家計に例えると、貯蓄が増えて借金は減った状況です。市債は、約7割が後年度に国から補てん(交付税措置)される有利な借金を選択しており、総じて健全財政の範囲にあると言えます。

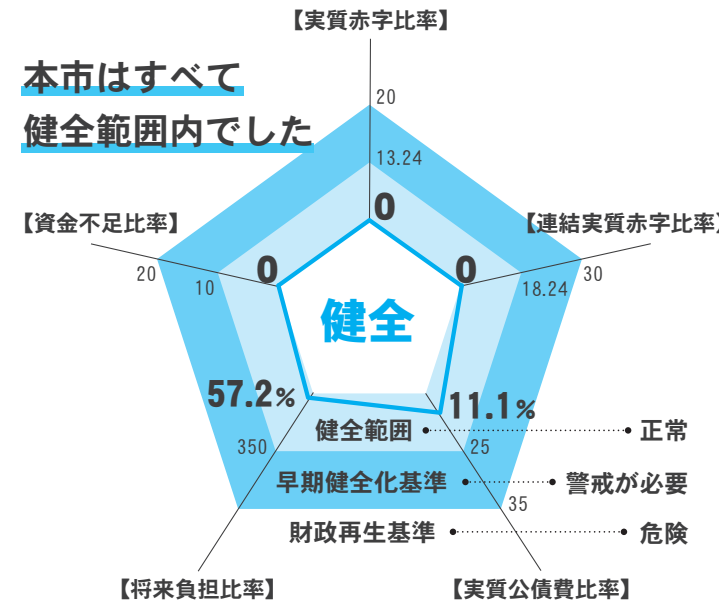
【歳出関係(支出)】 ▶総務費/庁舎管理、税の徴収などに使うお金 ▶民生費/社会福祉・高齢者・障がい者・児童福祉・生活保護などの生活保障に使うお金 ▶衛生費/ごみ・屎処理など、生活環境保持に使うお金 ▶農林水産業費/農業・林業・水産業の推進に

## 各会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	210億 172万円	199億1,383万円	10億8,789万円
特別会計	75億9,211万円	74億4,083万円	1億5,128万円
国民健康保険(事業)	30億2,752万円	29億4,659万円	8,093万円
国民健康保険(直営診療施設)	8,855万円	8,576万円	279万円
後期高齢者医療	3億5,515万円	3億5,514万円	1万円
介護保険(保険事業)	36億2,297万円	35億7,159万円	5,138万円
介護保険(介護サービス事業)	1,370万円	1,205万円	165万円
ケーブルテレビ事業	4億8,422万円	4億6,970万円	1,452万円
合計	285億9,383万円	273億5,466万円	12億3,917万円

※各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしています

## 本市はすべて健全範囲内でした

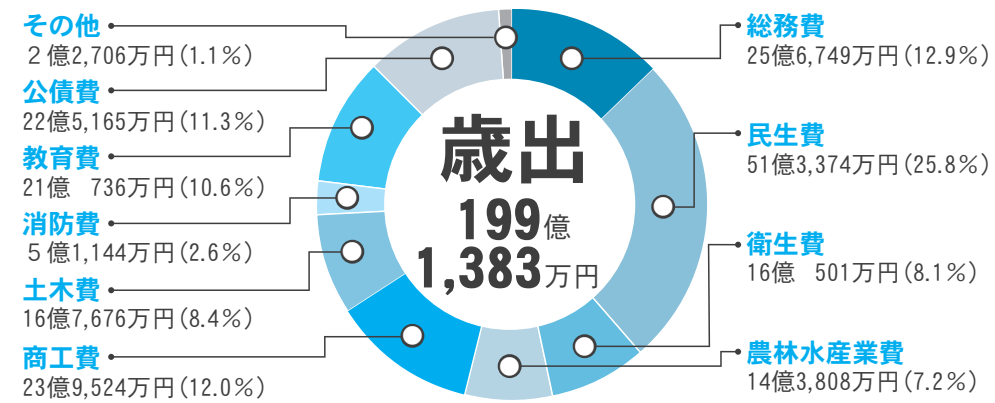
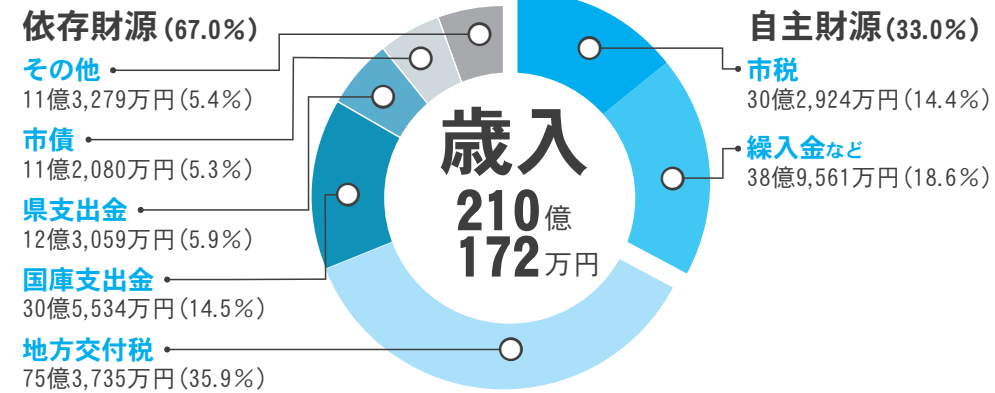


財政状況は「健全範囲内」  
市は毎年度、実質的な赤字や外郭団体を含めた実質的な将来負担を表す指標「健全化判断比率」と、公営企業ごとの資金不足額を表す指標「資金不足比率」を議会に報告・公表しています。令和4年度決算に基づく本市の健全化判断比率と資金不足比率は、いずれも健全範囲内となっています(上図)。

使うお金 ▶商工費/商工業や観光の推進に使うお金 ▶土木費/道路や公園などの整備・補修などに使うお金 ▶消防費/消防や防災活動などに使うお金 ▶教育費/幼稚園、小・中学校、生涯学習などに使うお金 ▶公債費/市の借金(市債)返済などに使うお金

## 一般会計決算状況

※各数値は単位未満を四捨五入し端数処理しています



市の一般会計決算は歳入総額210億172万円、歳出総額199億1383万円でした。令和4年度は「第2次遠野市総合計画後期基本計画」の2年目。▽官民一体となった新たな観光コンテンツの創出▽妊産婦への包括的な支援体制の充実▽小友地区センターおよび遠野部地区センターの改修工事―など、各種事業を展開しました。新型コロナウイルス感染症対策では、ワクチン接種体制確保や地域経済の回復・成長に向けた事業を実施。感染対策と社会経済活動の両立を図りました。物価高騰緊急支援給付金や子育て世帯臨時特別支援金などの給付金は、国の地方創生臨時交付金や各種補助金を活用し対応しました。

歳入のうち、市税や使用料・手数料など市が独自に確保できるお金「自主財源」の割合は全体の33%、69億2485万円でした。市民税や固定資産税、企業版ふるさと納税が増え、前年度比17億5214万円増加。一方、地方交付税や国・県支出金など、市に配分されるお金「依存財源」の割合は、全体の67%、140億7687万円でした。地方交付税の減少や、前年度に大型事業が完了したことで国庫支出金と市債(市の借金)が減少。前年度比41億1746万円減でした。自主財源は増加しましたが、依存財源は大幅に減少。総額では前年度比23億6532万円減少しました。歳出は商工費や教育費が

【歳入関係(収入)】 ▶繰入金/貯蓄などから取崩して行政サービスの経費などに充てるお金 ▶地方交付税/一定の行政サービス水準を維持するために国から配分されるお金 ▶国庫・県支出金/特定の事業を行う際にその経費の財源として国や県から交付されるお金

用語解説

## お知らせ

# 1

# 決算報告

## 令和4年度市の財政状況

「総合計画後期基本計画」の2年目

歳入・歳出ともに前年を下回る

市の令和4年度決算が市議会9月定例会で認定されました。決算概要と、財政状況を紹介します。詳しい内容は市ホームページで公開しているほか、市役所とびあ庁舎で閲覧できます。  
■問い合わせ 市財政課(☎6212111内線224)  
遠野市 令和4年度決算 検索

